

Analyst Workbench

アナリスト ワークベンチ

状況の変化に応じて俊敏かつ正確に調整する能力など、正確なサプライチェーンオペレーションは、ビジネスに不可欠です。つまり、エンドツーエンドのサプライチェーン全体に渡ってほぼリアルタイムの可視性を実現し、例外が特定された場合にデータに基づいて迅速に解決できるようにすることです。

幸いなことに、デジタル化により、企業はサプライチェーン、取引先のネットワーク、サードパーティのデータソースからの膨大な量のほぼリアルタイムのデータにアクセスできるようになっています。そうしたデータを取り込んで分析すれば、サプライチェーンの「正常」な状態と、重要な業績目標の達成に影響を及ぼす異常状態（突然の製品や労働力の不足など）を見分けることができます。これらのイベントを事前に予測することで、財務業績や顧客関係に悪影響が及ぶ前に先手を打って解決できます。

しかし、ほとんどの企業は膨大な量のデータに圧倒され、データを収集・分析し、日々の意思決定に利用するための構造化されたプロセスがありません。むしろ、データはアクセスできない、または実用的でない状態でサプライチェーン全体に散在しています。

Blue Yonder のソリューション

Analyst Workbench (AWB) は、あらゆるソースからほぼリアルタイムのデータを取り込み、高度なアナリティクスを適用し、対話型のユーザインタフェースを介して戦術的に利用できる形で提供する包括的なデータ収集フレームワークです。

このソリューションは、Blue Yonder の市場をリードするテクノロジーや IP と Snowflake の強力なデータ管理機能を組み合わせることで、管理されたライブデータや、業界固有のデータセットやデータサービスへのアクセス、共有、使用を大規模に行うことができます。しかも、アプリケーション間の技術統合に伴う、あるいは従来のデータマーケットプレイスにおける、遅延、コスト、労力といった問題とも無縁です。Analyst Workbench は、共通のデータクラウドに一元的に保存された豊富な統合データにアクセスして閲覧するための、使いやすく、わかりやすいインタフェースを備えています。

今日の複雑なオムニチャネル環境に合わせて構築されており、広大なエコシステム内のあらゆるデジタルタッチポイントからデータを組み合わせて照合し分析できます。この強力なソリューションは、物理的なサプライチェーンのデジタルツインを構築し、在庫、労働力、輸送資産の稼働率を含め、サプライチェーン全体の正常性や収益性の監視と改善を可能にします。ほぼリアルタイムのデータを容易に利用することで、コストやサービスの成果に直接影響する主要業績評価指標 (KPI) を改善できます。

主なメリット

- エンドツーエンドのサプライチェーン全体にわたる状況の変化に対する即応性の向上
- 事実に基づく意思決定が可能にするコスト削減やサービス向上
- パートナーエコシステム全体にわたる可視性とコラボレーションの向上
- 在庫、労働力、輸配送、およびその他の資産の稼働率向上

機能の詳細

データに対する統合アプローチ

バックエンドでのデータの構造化方法は、アナリティクスの分野において重要な役割を果たします。サプライチェーン内の機能ごとに、データ保存形式が異なるさまざまなマイクロサービスが使用されている可能性があります。たとえば、配分マイクロサービスや調達マイクロサービスには、独自のデータ構造やデータストアがあり、オーダーフルフィルメントサービスも同様です。そのためデータの使い勝手が悪く、データの保守や操作が追加で必要になります。Blue Yonder は、データがオーダー、在庫、労務、輸配送管理などの各種オムニチャネル機能に基づいて保存される統合アナリティクス環境を実現するために「One Data(ひとつのデータ)」ポリシーを採用し、使い勝手の良い堅牢なデータ環境を構築しています。データの収集は、顧客が Web サイトにアクセスした瞬間から、在庫管理、倉庫管理、オーダー管理、フルフィルメント、輸配送を通して続きます。これにより、サプライチェーンデータに対する全方位的な視点や、製品ジャーニーや顧客体験全体に対するエンドツーエンドのインサイトを提供します。

高度なデータ視覚化

複数のソースからデータを収集した後、サプライチェーンのパフォーマンスを追跡する上で重要なのがデータの視覚化です。Analyst Workbench フレームワークは、共通のデータクラウドに保存された統合データを使用して動作し、ユーザは最新の結果をさまざまなKPIと比較する方法を、コンシューマライクな対話型インターフェースで容易に視覚化できます。また、ユーザが各自の優先事項や目標に集中できるように独自のダッシュボードを作成することもできます。レポート要件が変化した場合、新しいレポートの生成または既存レポートの編集により、独自にパーソナライズしたデータビューを作成できます。

パーソナライズされたロールベースの視点

サプライチェーン関係者にはそれぞれ異なるデータニーズがあり、Analyst Workbench はそれぞれのニーズを反映したロールベースの視点を提供します。たとえば、分割出荷が急増してコストを押し上げていることにフルフィルメントチームが気づいた場合、根本原因を探して解決策を定義するにあたって、その問題に直接関連するデータを切り分ける必要があります。Analyst Workbench を使用すると、サプライチェーン全体のユーザが各種データ要素を販売チャネル、製品カテゴリ、場所、時間帯などのさまざまな次元にわたって細分化して、問題を深く掘り下げることができます。また、定義したしきい値に基づいてアラートを設定することも可能です。パーソナライズされたダッシュボードにレポートを保存しておけば、状況が変化したときに見直すことができます。

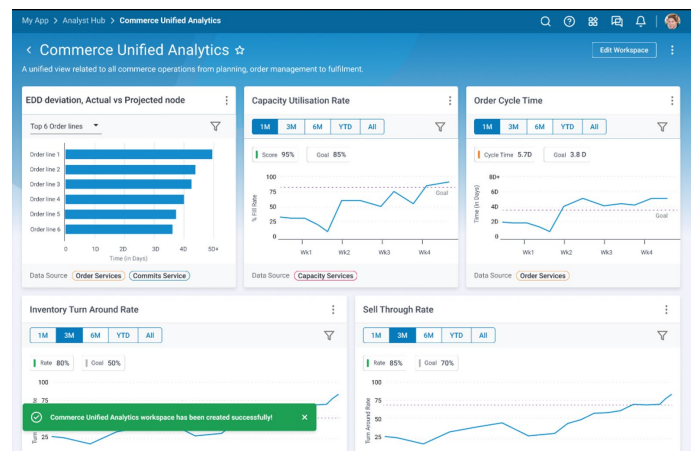
blueyonder.com/jp/ja

他のソリューションやシステムとのシームレスな統合

今日の複雑なサプライチェーンでは通常、オーダー、労務、倉庫、輸配送管理ソリューションなどのさまざまなシステムやツールが使用されています。Analyst Workbench は、他の Blue Yonder ソフトウェアやマイクロサービスと事前に統合されており、それらの機能からほぼリアルタイムのデータを統合データリポジトリに収集できます。ユーザは、同じデータ、ダッシュボード、レポートにアクセスでき、エンドツーエンドのサプライチェーン全体にわたって真のデジタルトランスフォーメーションが可能になります。

主な特徴

- 社内、パートナーおよびサードパーティから収集する統合データクラウドを提供
- ほぼリアルタイムのエンドツーエンドのサプライチェーンオーケストレーションをサポート
- 例外を特定し、事実に基づく対応を実現
- 他のサプライチェーンシステムやソリューションとシームレスに統合
- データ主導のパフォーマンス測定や継続的改善を実現



デジタル変革をただちに実現

詳細については、blueyonder.com/jp/ja をご覧ください。